

社協 ほどがや

No. 40

【発行】
社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会(会長 山崎 滋)

〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階 ☎:341-9876 FAX:334-5805
ホームページ: <http://www.shakyohodogaya.jp/> Eメール: h@shakyohodogaya.jp

特集 聞いて！私たちの本音

区社協、共同募金会保土ヶ谷区支会からのお知らせ
コラム・こらむ、ボランティア情報、編集後記

1
2

聞いて！私たちの本音

妊婦（プレママ）の聞いて！

プレママの不安

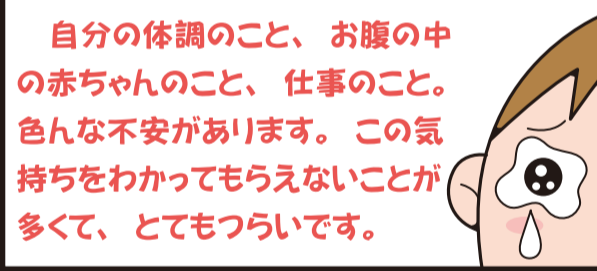


私は妊娠3か月ですが働いています。つわりもあるし…体も熱っぽくて…すごくしんどい。

マタニティマークをかばんに付けて通勤していますが、席を譲ってもらったことはほとんどありません。でも、混雑した電車の中ではみんなが大変ですよ。



この前よほど青い顔をしていたのか、若い男性が譲ってくれました。涙が出るほど嬉しかったなあ。



自分の体調のこと、お腹の中の赤ちゃんのこと、仕事のこと。色々な不安があります。この気持ちをわかってもらえないことが多くて、とてもつらいです。

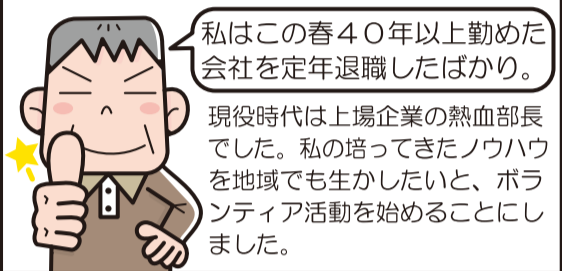
■見えない辛さがあるということ

「マタニティマーク」は、見た目ではわかりづらい妊娠初期の人のために、周囲の人たちが配慮しやすくするために作られました。一方ではプレママに対する「いやがらせ」マタハラ（マタニティハラスメントの略）という言葉も耳にするようになり、マタハラを恐れあえてマタニティマークを付けない人もいます。目には見えない辛さを抱えた人への気づかいと思いやりを、忘れないようにしたいですね。

そして悩めるプレママさん！ 妊娠中の悩みや不安を聞いてくれるスタッフやママがいる「地域子育て支援拠点こっころ」や「親子のつどいの広場」などの施設を訪ねてみませんか？ 話を聞いてもらうことで元気を取り戻すきっかけになればと思います。

地域のボランティア活動にデビューした男性の聞いて！

元企業戦士の葛藤



私はこの春40年以上勤めた会社を定年退職したばかり。現役時代は上場企業の熱血部長でした。私の培ってきたノウハウを地域でも生かしたいと、ボランティア活動を始めました。

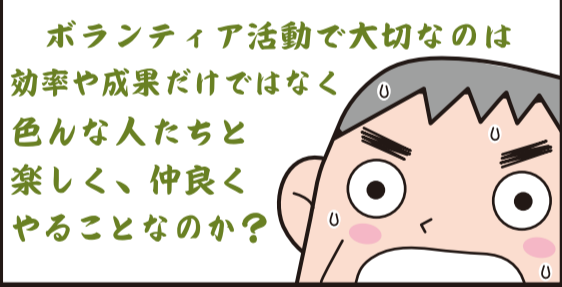


ところが、この情熱が地域では敬遠される。どうしてなんだ！



地域のボランティア活動は、楽しみながらするものだからじゃないかしら？

えええっ!?

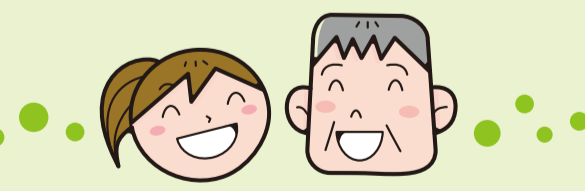


ボランティア活動で大切なのは効率や成果だけではなく色々な人たちと楽しく、仲良くやることなのか？

■地域に居場所を見つけて、楽しむ

ボランティア活動は、命令や指揮系統ではなく、「やりたい」という思いと共感によって動きます。そして、活動の原動力は笑顔や感謝の言葉です。会社で過ごした時間の長かった方は当初は違和感を覚えるかもしれませんが、でも、この水平な関係や笑顔でのつながりは、実に楽しいものです。

会社人間だったという自覚のある方こそ、自分に合った地域の活動を見つけてみませんか？



福祉の現場からの聞いて！

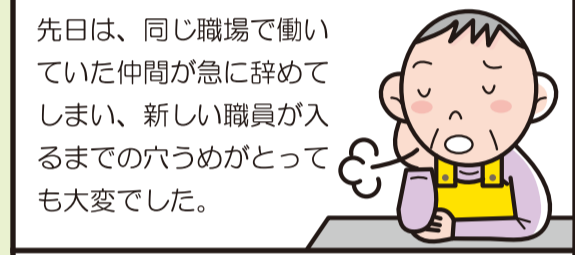
ヘルパーさんの苦悩と喜び



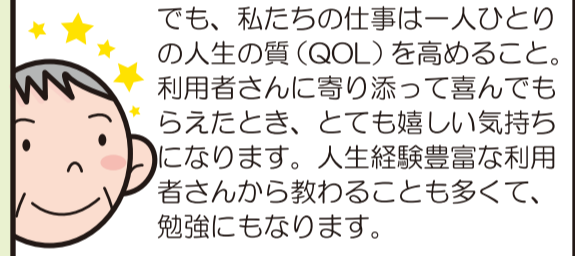
私はヘルパーをしています。

利用者さんの生活を支える仕事の責任は重く、体力勝負な部分も多いです。

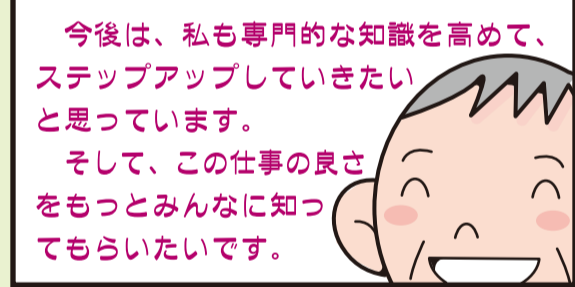
辛いなあ、辞めたいなあって思うことは確かにあります。



先日は、同じ職場で働いていた仲間が急に辞めてしまい、新しい職員が入るまでの穴うめがとっても大変でした。



でも、私たちの仕事は一人ひとりの人生の質(QOL)を高めること。利用者さんに寄り添って喜んでもらえたとき、とても嬉しい気持ちになります。人生経験豊富な利用者さんから教わることも多くて、勉強にもなります。



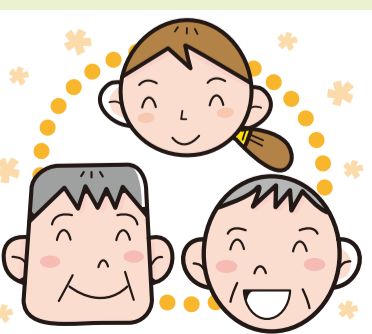
今後は、私も専門的な知識を高めて、ステップアップしていきたいと思っています。

そして、この仕事の良さをもっとみんなに知ってもらいたいです。

■福祉の仕事のやりがい

ヘルパーさんは、これから超高齢社会へ向かう日本ではますます必要とされる人材です。それ以外にも保育士や看護師などの人材も不足しています。

福祉の仕事に就いている人たちは、直接人に関わる人が多いので、大変なこともあります。やりがいもその分大きいです。専門的な知識を身に付ければステップアップも可能。仕事としての福祉に関わってみませんか？



現代は誰もが心のゆとりがなく、暮らしにくい世の中だと感じることもありますね。情報手段は進化していても、隣にいる人のことがわからなかったり、自分の思いを伝えられず、本音が言えなかったりしがちです。

今回は色々な立場の人の「本音」を聞いてもらい、「へー、そんなことがあるのね」と知ってくれる人を増やそうと考え、テーマを設定しました。少し知るだけで考え方が変わったり、他人を見る目が違ってきたりします。

あなたのまわりには、自分の意見を述べたり、あるいは他の人のことを知ったりする場所がありますか？ 誰もが安心して自分らしく暮らせるまちにするために、「こんなまちにしたい」「ちょっとこれは問題かも」と思うことを出し合って、みんなで一緒に考えてみたいものです。

TEL 332-2412

FAX 334-5805

開館 9:00 ~ 17:00 (日・祝・年末年始は休館)

ボランティア講座

ボランティア はじめの一歩 ~ボランティア入門講座~

日時：平成 28 年 10 月 29 日 (土) 10 時 ~ 12 時
場所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点 多目的研修室
内容：カードを使ったボランティア疑似体験、その他ボランティア活動に関する基礎知識を学びます。



今後の講座予定

- 子育て応援講演会「子どもたちの居場所・地域コミュニティとは」
日時：平成 28 年 11 月 12 日 (土) 10 時 ~ 12 時
場所：ほどがや市民活動センターアワーズ
講師：子どもの未来サポートオフィス 代表 米田 佐知子氏
●音声訳ボランティア講座
日時：【説明会】平成 29 年 1 月 19 日 (木) 【講座】平成 29 年 1 月 26 日 (木) ~ 3 月 16 日 (木) 10 時 ~ 12 時 (全 8 回) ※2 月 16 日のみ 10 時 ~ 15 時
●ボランティア入門講座「はじめの一歩」
日時：平成 29 年 2 月 15 日 (水) 14 時 ~ 16 時
このほか「精神保健福祉ボランティア講座」を開催予定です。
広報よこはま保土ヶ谷区版・チラシ・HPで募集します

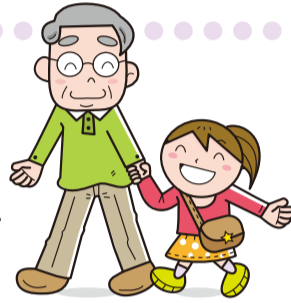


ボランティアさん募集

Table listing various volunteer roles and locations: 美立の杜 (今井町), よつば苑 (狩場町), 保土ヶ谷養護学校 (権太坂), もみの木作業所 (旭区小高町).

“移動情報センター”ってなあに？

移動情報センターは、障がいのある方や高齢者など、電車やバスなどの公共交通機関を利用して外出することが困難な方に対して、移動に関する相談を一括してお受けする窓口です。



ガイドヘルプサービス

障害者総合支援法に定められている、移動介護・通学通所支援の支給を受けた方が、日常生活に必要な買物や冠婚葬祭などで外出する場合や、特別支援学校・養護学校への通学、作業所等への通所の際にガイドヘルパーを利用することができる制度です。

ガイドボランティア (横浜市ガイドボランティア事業)

外出時にボランティアの付き添いをつけることができる制度です。付き添ったボランティアの方に、市から一定の奨励金が支払われます。

こんな相談をお受けしています

休日の外出の相談ができる
ところ、ないかな？

特別支援学校へ自分で通学できるような支援があったら...



一人で外出するのは不安だな...

個別支援級への通学支援の相談ができる
ところはないかな？

車いすだから、外出が難しい...だれか手伝ってほしいな

ご相談は移動情報センターへ

時間 9時~17時 (土日祝日・年末年始を除く)
費用 無料
電話 332-2479
FAX 334-5805
Email idou@shakyohodogaya.jp

ボランティア活動に関することはボランティアセンターまでお気軽にお問い合わせください。

報告 夏休みちょっとだけボランティア2016

小中高生を対象とし、地域福祉やボランティアについて興味をもってもらうきっかけづくりをしています。今年度は、手話体験コースは12名、点訳体験コースは9名、施設活動・地域活動体験コースは17名の申込みがあり、区内17施設・団体で体験活動を行いました。

- ①優しさと喜び感じる ボランティア
②ボランティア 優しさをシェア できるもの
③苦勞ある だから楽しい ボランティア

今後、参加した子どもたちが地域活動やボランティア活動に楽しみを見つけ、様々な活動へとつながるよう応援していきます。

共同募金会保土ヶ谷区支会からのお知らせ

★赤い羽根共同募金が始まります。★

10月1日から「赤い羽根共同募金」を実施します。皆さまから寄せられた募金は、ボランティア団体等を支える「あったかほどがや助成金」や、障がい者施設・社会福祉施設の備品購入等を支える貴重な財源となります。



共同募金 PR 大使
フサオマキサル「マコト」

～配分金を活用している団体のご紹介～
NPO法人ぎてん ほどがや希望の家
～ありがとうメッセージ～

赤い羽根共同募金の収益を、送迎車の購入に使わせていただきました。新車を購入させていただいたことで、安心・安全な送迎サービスを提供できます。大切に使用させていただきます。



区社協からのお知らせ

～ほっとなまちづくりフォーラム～第34回保土ヶ谷区社会福祉大会

保土ヶ谷区で地域福祉活動などに功績のあった方々の表彰や、複数の地区社協による福祉保健活動の発表を行います。また、地域の障がい者団体等による福祉作品展や福祉バザーが大会を盛り上げます！多くの方のご来場をお待ちしています。

日時 平成28年12月17日(土)
作品展・福祉バザー 11:00~16:00
表彰式典・活動発表会 13:00~16:00
場所 保土ヶ谷公会堂(相模鉄道線「星川駅」北口より徒歩5分)



「食」に関する支援を行っています

NPO法人セカンドハーベストジャパンとの連携

経済的に困窮され、食糧の確保が難しい方を対象に食糧のパッケージを送付し、他の支援機関と連携して自立につながる支援を行っています。



「こども食堂」勉強会の開催

子どもが一人でもふらりと立ち寄ることの出来る地域の居場所で、さまざまな大人たちと関わり合いながらみんなで楽しく食事がとれる場所がこども食堂です。活動団体によって開催の目的は居場所、困窮、孤食などそれぞれ違いますが、この取組に関心を寄せている地域の団体やNPO法人の方々が参加され、「こども食堂勉強会」を区社協で開催しました。

勉強会では、他区の事例の紹介やこども食堂の開設に向けた課題や情報の共有を行いました。今後も実施に向けた支援をすすめていきます。

コラム・こらむ ~新規区社協会員のご紹介~

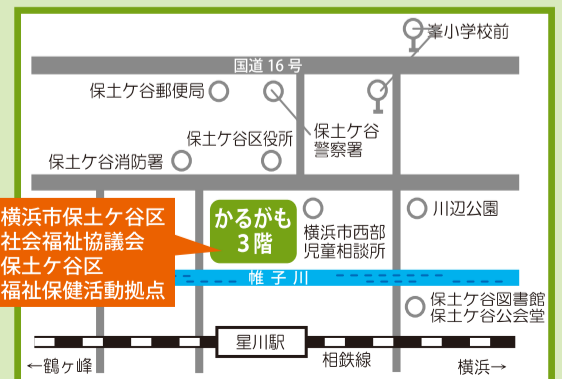
上菅田地区連合自治会 上菅田地区社会福祉協議会

平成 28 年 4 月より発足しました。

連合・地区社協・まちづくり協議会、この3つが力を合わせ、住んでいて良かった、これからも住み続けたいまち 上菅田の実現を目指していきます。

編集後記

地域活動は、「やってみたい!」「やってみよう!」の集まりです。まずは小さな集まりに参加して、周りの人や団体がいきいきと活動できるように、お互いをサポートしていくことが大切だと思います。



*この広報紙は赤い羽根共同募金の協力で発行しています

*この広報紙のデジ版を、保土ヶ谷録音グループ「はし」の協力により発行しています。ご希望の方は保土ヶ谷区社会福祉協議会までご連絡ください

編集委員 (委員長) 高橋 賀世子 (副委員長) 皆川 康子、縣 洋之、金井 篤史、菅沼 久美子、中井 友美子、中野 英子、森 泰昭